

あなたと議会をつなぐ

とういん
議会だより



令和3年5月7日

2月臨時会
3月定例会
147号

発行 三重県東員町議会

新年度予算を審議	4
町政を問う	14
傍聴者の声	23



新体制でスタート



議長
島田 正彦



副議長
山崎 まゆみ

令和3年3月1日の定例会で
決まりました。

議長就任あいさつ

このたび、令和3年3月1日定例会におきまして、議員各位からの推挙により、第70代議長に就任させていただきましました。

重責ではございますが、常に公正・公平を心掛けながら、円滑な議会運営に誠心誠意努めさせていただく所存でございます。

さて、昨年からの新型コロナウイルス感染症の猛威による影響で、かつてない時代の転換期を迎え、新しい生活様式などの推進により、人々の意識や価値観なども変化を余儀なくされている今日であります。本年度もさまざまな課題が山積されておりますが、町議会といたしましては、町民の皆さまの健康と生活を守ることを最優先に、二元代表制の一翼を担う議会の監視機能を果たしつつ、行政と一丸となり、まずはこの危機的状況に全力を挙げて取り組んでまいります。そして、皆さま方に、何より一日も早く平穏な日々を取り戻して頂けますようにと願うばかりでございます。

今後とも、本町議会への一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議会構成

◎ 委員長 ○ 副委員長

議 長	島田 正彦	副議長	山崎 まゆみ
-----	-------	-----	--------

監査委員	三宅 耕三
------	-------

総務建設 常任委員会	◎伊藤 治雄	○広田 久男	大崎 昭一
	中村 等	水谷 喜和	山本 陽一郎

教育民生 常任委員会	◎川瀬 孝代	○三林 浩	片松 雅弘
	大谷 勝治	山崎 まゆみ	南部 豊
	三宅 耕三		

議会広報 常任委員会	◎三林 浩	○広田 久男	片松 雅弘
	大谷 勝治	山崎 まゆみ	三宅 耕三

予算決算常任委員会	◎中村 等	○山崎 まゆみ	議長を除く11名
-----------	-------	---------	----------

議会運営委員会	◎南部 豊	○大崎 昭一	伊藤 治雄
	川瀬 孝代	三林 浩	中村 等

東員第一中学校移転 事業特別委員会	◎山本 陽一郎	○南部 豊	中村 等
	伊藤 治雄	三林 浩	川瀬 孝代

消防委員	片松 雅弘	大谷 勝治	三林 浩
------	-------	-------	------

民生委員推薦委員会委員	川瀬 孝代
-------------	-------

桑名広域清掃事業組合議会議員	島田 正彦	中村 等
----------------	-------	------

桑名・員弁広域連合議会議員	山崎 まゆみ	大崎 昭一
---------------	--------	-------

環境審議会委員	山崎 まゆみ	三林 浩
---------	--------	------

水道水源保護審議会委員	山崎 まゆみ	広田 久男
-------------	--------	-------

都市計画審議会委員	広田 久男	大崎 昭一
	中村 等	水谷 喜和

ス対策を最優先 億8500万円

令和3年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先事項に据えるとともに、編成の基本方針を

- ① まちの形を変える
 - ② 人に優しい地域をつくる
 - ③ 未来へ投資する
- の3つの柱とし、それに関連する事業費です。

主な質疑

問 業務効率化に向け、具体的にどのようなことに取り組んでいますか。

答 (総務課長) 効率を第一にするのでなく、効果を優先しています。成果が事務事業や次年度の予算に反映されるように努めています。

問 広報紙などの配布は、業者でなく、地域でやってもらえないのですか。

答 (政策課長) 令和元年度に自治会に話しましたが「広報紙配布は難しい」とのことでしたので、令和2年度以降業者委託としています。

今後、地域の方で全戸配布してもらえぬのなら協議します。



北勢線とオレンジバスが発着する東員駅

問 北勢線の補助金についての負担割合はどのようになっていますか。

答 (政策課長) 負担割合は均等割、人口割、駅舎割、営業距離割より算出しています。

東員町は19.7%です。

問 オレンジバスの※バスロケーションシステムはどのようになっていますか。

答 (政策課長補佐) アプリでバスの位置情報や、乗降センサーでどの停留所でも何人くらいが乗り降りしたか把握分析できるので、料金改定やルート検討の資料として利用しています。

※バスロケーションシステムとは

無線通信やGPSなどを利用してバスの位置情報を収集することにより、バスの定時運行の調整等に役立てるシステム。

コロナウイルス 過去最高の86

問 令和3年度予算編成では、財源確保にどのように取り組まれましたか。

答 (財務課長) 歳入では、県下トップである町税徴収率の維持の他、今後公共施設の使用料などの見直しを実施していきます。

歳出では、財政健全化の一環として補助金の見直しと、事務事業評価から予算編成につなげるトータルシステム化や、定員管理を徹底した人件費の抑制に取り組みます。

基金については効果的な運用として安全面を担保した上での長期的投資を行っています。

問 中学校管理経費が一中について計上されていないのはなぜですか。

答 (教育総務課長) 一中については移転を見越して必要最低限の修繕にとどめているので、予算化は二中に係る事業費だけです。

問 一中の移転協力を快諾した地権者の意向を無駄にしないために、利用できる土地を活用するという事で整備する考えはありませんか。

答 (教育委員会事務局長) 建設地を予定地よりずらすという考えもありますが、公共施設群との連携を重視しているので、可能な限り予定地に近い場所で中学校として利用しやすい形で移転事業を完成させたいと考えています。

用地提供の地権者の気持ちを台無しにしないよう、建設までに問題を丁寧に解決していきます。

問 医療扶助費の減額理由は何か。

答 (保険年金課長補佐) コロナの影響による受診控えもあり、医療費は想定程は伸びませんでした。

問 マメマチプロジェクトは、今後どうしていったら良いと考えていますか。

答 (産業課副課長) 最大の課題は実証圃場栽培での収量向上、品質向上です。

長野県で研修を受けた栽培方法などで、しっかりとした土台を築き、事業化の実現につなげようと考えています。



東員第二中学校

問ファミリー・サポートセンター事業を今後「三重県子どもNPOサポートセンター」に委託して、サービス低下となりませんか。

答子ども家庭課長補佐（ファミリー・サポートセンター）事業は、育児を助けてほしい依頼会員と、手伝

いたい援助会員の信頼に基づく当事者同士の契約であり、ノウハウと知識が豊富な本団体に委託することが最適であると考えました。

サービス低下とならないように、委託団体と調整していきます。



新しく開所した子育て支援センター

問補助金見直しの取り組みと効果を伺います。

答（財政課長）令和3年度は令和2年度と比べて約1200万円の減額となっています。

令和5年度の計画では、約3000万円の歳出の抑制を見込んでいます。

問中学校部活指導員はどのようなものですか。

答（学校教育課副課長）教職員の負担軽減を図り、教材研究と子供と向き合う時間を確保するため、可能な限り部活指導員は外部委託することとなりました。

全18部活のうち、8部活の外部指導員の確保ができてきたため予算計上しました。

問マイナンバーカードの交付率と健康保険証との連携はどのようになっていますか。

答（町民課主幹）今年2月末時点で交付率26.96%で6990人に交付しています。

今年3月から健康保険証の機能が追加されるとのこととで、各医療機関に設置の端末で使用可能となります。（その後、厚生労働省から運用開始時期は半年程度延期するとの発表がありました。）

問不登校対策調査とはどのような調査ですか。

答（学校教育課主幹）学校生活の中で友人関係、学習意欲について調査する「学級満足度調査」を小中学校で実施し、状況を把握します。

反対討論（大崎議員）
 コロナ対策の予算配分が不十分です。第3次臨時交付金を暮らし擁護に配分することを強く求めます。
 近年は住民に冷たい行政運営であり、本予算案も住

民サービス縮小です。
 農業政策で「少しずつ進める」との悠長な町長の政治姿勢の見直しを強く求めます。

賛成討論（山崎議員）

新型コロナウイルス感染症対策を最優先にすると共に、第6次総合計画に掲げる町の未来像「おみごとがあふれる町へ」の実現を目指し、必要かつ重要な費用を計上しているため、賛成します。

賛成討論（三宅議員）

対案も修正案も出さず原案に反対するのは、大切な新型コロナウイルス対策費や教育・福祉・人件費など、すべての予算を否定していることになりまますので、原案に賛成します。

令和2年度 一般会計 補正予算



ワクチン保管用冷凍庫

2月臨時会

新型コロナウイルスワクチンの接種体制を確保するため5800万円を増額補正しました。

内容は、ワクチン接種に掛る予防接種委託や消耗品、備品類の購入費用です。財源は全額国が負担します。

3月定例会

町税や国庫支出金などの歳入の増減や、基金積立金、事業費の確定等により増減が生じた事業などについて、それぞれ必要な措置をしました。

主な質疑

問 自治会対抗行事を無くすことでコミュニケーションがなくなりませんか。

答 (社会教育課長) 自治会対抗行事がなくなるのは寂しいという声はあります。今後、町としてはフェスティバルのような形で自治会として参加していただいて、町民融和を図るように考えています。

問 山田溜の耐震調査は初めて行うのですか。その後の計画はごうですか。

答 (産業課係長) 全体的調査は初めてです。

(産業課長) 今回の補正予算と令和3年度当初予算で、合わせて3つの池の調査を予定していて、その結果によっては修繕を計画します。

反対討論(大崎議員)

新型コロナウイルス感染症対策は、コロナ不況で困窮する商工業者、町民にとって不十分です。幅広く町民の家計を応援すること、医療、介護、身障者施設等に携わる事業所と従事者に手厚い補正予算編成を求めます。

賛成討論(山崎議員)

将来に備えるための「財政調整基金元金積み立て」や退職消防団員慰労金他、庁舎改修工事などの入札の差額の減額補正です。適正な積算根拠のもとに計上されていると認められるため賛成します。

・ 企業会計の予算状況は

特別会計とは

特定の事業を行う場合、特定の歳入を財源としてその事業運用を行う会計で、一般会計と区別して経理をします。

企業会計とは

水道事業のように独立採算による特定の事業を経理する会計です。

国民健康保険

主な質疑

問 保険料を納付しやすくする工夫はしていますか。

答 (保険年金課長補佐) 口座振替やコンビニ納付のほか、令和3年4月より自宅などからバーコードを利用し、支払いが可能となる電子決済の開始を予定しています。

問 糖尿病性腎症重症化予防講座の受講者への通知は個別案内ですか。

答 (保険年金課長補佐) 健康長寿課と連携し、特定健康診査などの結果により該当しそうな方へ個別通知しています。

反対討論(大崎議員)

医療費抑制、住民負担軽減は評価します。住民は保険料低減を求めています。

誰もが納付しやすい保険料とするよう、国庫負担率の引き上げと、保険料の更なる引き下げを求め、反対します。

賛成討論(三林議員)

国民健康保険は、誰もが安心して医療が受けられるようにする相互扶助の精神に基づくものです。

また健康の保持・増進を図るための特定健康健診などの費用も計上されていることから賛成します。

賛成討論(三宅議員)

対案も修正案もなく反対するのは、無責任であり、大切な予算も含まれていることから原案に賛成します。

後期高齢者医療

主な質疑

問 後期高齢者医療の加入者が年々増え続けますが、医療費は大丈夫ですか。

答 (保険年金課長補佐) 生活習慣病予防の早期発見を目的に、後期高齢者への健康診査を実施し、医療費の抑制を図っています。

反対討論(大崎議員)

健康づくり、フレイル予防意識向上への周知を図り、保険料抑制へのさらなる努力と創意工夫を求め、高過ぎる保険料を低く抑えるために、国・県へ負担割合向上の働きかけを求めます。

賛成討論(三林議員)

高齢化に伴う医療費の増大に対応するための制度であり、負担能力に応じ、公平に負担しています。安心して医療を受けられるための必要な運営費であるので賛成します。



令和3年度特別会計

会計区分	特別会計				企業会計
	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	下水道事業	水道事業
予算額	29億8,820万円	3億8,790万円	17億6,750万円	9億1,940万円	7億235万円
前年対比	1億2,540万円	1,550万円	△3億8,040万円	△2,490万円	9,678万円



開設された第二地域包括支援センター

介護保険

主な質疑

問 地域包括支援センターの利用状況と、運営上の課題は何ですか。

答 (健康長寿課長) 笹尾連絡所内に第二地域包括支援センターを設置したことから相談件数は増えていますが、課題はスペースが手狭で、相談内容も多種多様のため増員の検討も必要と考えています。

反対討論(大崎議員)

制度がこのままでは、地方自治体の財政運営、事業所経営は深刻さを増し、住民負担増加を危惧します。公的役割り強化と国庫負担割合引き上げを求め反対します。

賛成討論(三林議員)

第8期介護保険事業計画の基本指針に基づき、新たに専門職を配置する「総合相談事業」を計画するなど適正な制度運営費が計上されているので賛成します。

下水道事業

主な質疑

問 公営企業会計移行業務委託とは何をしますか。

答 (上下水道課長補佐) 民間企業と同様の会計制度に変更します。

お金の流れや資産・負債がどの程度あるのが把握でき、経営の健全化につながる事ができます。

水道事業

主な質疑

問 経営戦略策定業務委託とはどのようなことをするのですか。

答 (上下水道課長補佐) 平成29年に公表した計画の見直しを行うものです。

問 中上地区ナルックス前工事の水道管の構造はどのようですか。また、水道管の耐震化率は何%ですか。

答 (上下水道課長補佐) ポリエチレン管でジョイント部分は融着接合という耐震構造です。町全体の耐震化率は1.7%です。

令和2年度 特別会計 補正予算

国民健康保険

出産育児一時金の執行見込みの増加による増額のほか、国民健康保険基金元金積立金の増額です。

主な質疑

問 出産育児一時金の支出人数を教えてください。

答 (保険年金課長補佐) 計15名です。

後期高齢者医療

後期高齢者医療広域連合納付金における事務負担金の確定などによる減額です。

介護保険

地域支援事業費で国民保険団体連合会に支払う審査支払手数料が、当初見込みを上回ることから不足分の増額です。

問 基金残高の目標額を教えてください。

答 (保険年金課長) 国民健康保険料が約6億円と仮定すると、賦課前に災害などが発生した場合は、その半額が県より補填されるため、残りの3億円が目標とを考えています。

主な質疑

問 コロナ禍による介護サービスの利用控えはありましたか。

答 (健康長寿課長) 毎月のサービス給付で大きなマイナスとなったことはなく、サービス事業所からも報告は受けていません。

問 基金残高の目標額はありますか。

答 (健康長寿課長) 繰り越した分は利用するのが介護保険制度の原則のため、具体的な目標額は定めていません。



ワクチン接種のシュミレーション

下水道事業

城山地区で実施している老朽化したマンホールふたの更新工事約70か所が年度内に完了しないため、令和3年度に繰越します。

主な質疑

問 車両が通過したときにふたから騒音は出ませんか。

答 (上下水道課長補佐) ロック式の構造であるため、騒音は無くなると考えています。

条例審議での質疑は次のとおりです。

東員町子ども・子育て会議設置条例

これまでの子ども子育てに関する要綱を条例化するものです。

主な質疑

問 子ども・子育て会議では、どのようなことを話し合うのでしょうか。

答 (子ども家庭課長補佐) 子育てに関わる方々から幅広く意見を伺っていきま

問 メンバーの学識経験者とはどんな方ですか。

答 (子ども家庭課長補佐) 大学の教授を予定しています。現在は三重大学の教授です。

東員町学校施設の開放に関する条例を改正する条例

笹尾西小学校の運動場夜間照明を老朽化により撤去したことに伴う文言の削除です。

主な質疑

問 笹尾西小学校運動場の夜間利用の要望はありませんか。

答 (社会教育課主幹) 現在要望はありません。

要望がある場合は、中央球場と城山球場を案内します。

東員町立保育所設置条例を改正する条例

いなべ保育園としろやま保育園の利用希望者が定員を超えるので、定員数を変更するものです。

主な質疑

問 現在の待機児童の状況はどうなっていますか。

答 (学校教育課長) 1歳児7名が保育士不足により保護者に案内ができていない状態です。

問 保育士確保の対策はどうですか。

答 (学校教育課長) 知人や経験者の紹介など幅広く募集しています。

(教育委員会事務局長) 近隣市町で保育士の取り合いが発生しているため、賃金を上げています。

問 今回の定員増の理由は待機児童解消のためですか。

答 (学校教育課長) 保護者の希望に可能な限り沿うためのものです。

東員町国民健康保険条例を改正する条例

軽減基準額について見直しがあり、国民健康保険税の算定方法が変わるための改正などです。

主な質疑

問 軽減措置の判定において意図せざる不利益が生じないよう条例改正することですが、被保険者への影響はありませんか。

答 (保険年金課主幹) 軽減判定を行う総所得金額など

において、給与及び公的年金所得者の方は人数に応じて判定しますので影響はありません。

問 新型コロナウイルスなどの影響による傷病手当金が支給された実績はありますか。

答 (保険年金課主幹) 現在はありません。

コロナ禍で収入が減った世帯に対して保険料は15件、約200万円減免されます。

この分は全額国から補助されます。



利用者の増えた保育園

の賛否

○賛否の分かれた議案○

令和3年第2回(3月)定例会(3月1日~19日)

審議結果	議案名	議員名													
		大崎昭一	広田久男	中村等	伊藤治雄	片松雅弘	大谷勝治	三林浩	山崎まゆみ	島田正彦	南部豊	水谷喜和	川瀬孝代	三宅耕三	山本陽一郎
可	令和2年度東員町一般会計補正予算(第8号)	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠
可	令和3年度東員町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠
可	令和3年度東員町国民健康保険特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠
可	令和3年度東員町後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠
可	令和3年度東員町介護保険特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠
不	75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める請願書	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	欠

議長(-)は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。

75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める請願書

賛成討論(大崎議員)

誰もがお金に心配なく医療を保障するのが日本憲法の大原則であり、請願主旨に賛同し、紹介議員になりました。賛同をお願い致します。

反対討論(三林議員)

高齢者の医療費を支えているのが現役世代です。しかし少子高齢化が進み、現役世代の一人当たりの負担はどんどん重くなります。これを少しでも軽減できるように75歳以上全員では無く、負担能力のある75歳以上の方に負担いただくことと考えたものですので請願書について反対します。

また、請願の趣旨が対象外の高齢者も問題とし不安を助長させることから反対します。



各議員

○全会一致の議案○

令和3年第1回(2月)臨時会(2月16日)

審議結果	議案名
可	令和2年度東員町一般会計補正予算(第7号)

令和3年第2回(3月)定例会(3月1日~19日)

審議結果	議案名
可	農業委員会委員の過半数を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者とする事について
可	農業委員会の委員の任命について
可	東員町子ども・子育て会議設置条例の制定について
可	東員町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町消防団に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可	令和2年度東員町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
可	令和2年度東員町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
可	令和2年度東員町介護保険特別会計補正予算(第3号)
可	令和2年度東員町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
可	令和3年度東員町下水道事業特別会計予算
可	令和3年度東員町水道事業会計予算

一般質問

一般質問とは、町政財政全般について、町長の考えや疑問点を質す政策論議のことをいい、^{ただ}定例会のみ行われます。

10人が町政を問う

1. 南部 豊	15
1. 町づくり政策について	
2. 三宅 耕三	15
1. 町長の政治姿勢について	
3. 三林 浩	16
1. 本町の特産品について	
2. 東員町公共施設等総合管理計画について	
4. 広田 久男	16
1. 外出弱者が望んでいる地域交通づくりについて	
2. みんなが活躍できる地域共生社会の実現について	
3. 町民プール跡地の有効利用は	
5. 中村 等	17
1. 東員町の現状と対応・検証について	
2. 各種ボランティアの養成について	
3. 水道の長期計画等について	
6. 大谷 勝治	17
1. 町民プール廃止後について	
2. 公園管理について	
3. 道路の管理について	
7. 大崎 昭一	18
1. 後期高齢者医療制度について	
2. 高齢者福祉と介護保険制度について	
3. 加齢性難聴について	
8. 山崎 まゆみ	18
1. 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中での、「豪雨災害や地震発生を想定した備え」について	
2. 認知症の人や、ご家族、地域で安心して暮らし続けるための施策について	
3. 男女共同参画の視点に立った意識改革について	
9. 伊藤 治雄	19
1. 住宅環境の現状について	
2. コロナ禍における福祉施策について	
3. 東員第一中学校の移転事業について	
10. 川瀬 孝代	19
1. 女性の健康について	
2. 子育て支援について	
3. お悔み窓口の設置について	

原稿は本人が作成したものを原文で掲載しています。



過去の一般質問はこちらから

Q. 東員IC付近の開発は A. 交流拠点の形成を目指します



南部 豊

問 イオンモール東員店を含む東員IC周辺の開発は。

答 町長 東員IC周辺は大きなポテンシャルを持ったエリアであり、地の利を活かした交流やにぎわいの創出ができる交流拠点の形成を目指していかねければならないと考え、規制緩和などを含め、積極的に取り組みます。

再質問（一問一答）

問 イオンモール東員店がオープンし、周辺にはさまざまな企業誘致が期待されています。三和地区のみならず東員町民の皆さんも、商業地域・流通拠点としても大いに期待しています。

IC付近の開発についても同様です。何か具体的な話があるのかを伺います。

答 町長 東員IC周辺については、ここ数年いろいろな事業者・不動産会社から問い合わせがあり、一時は具体的な進出構想がありました。しかし法規制や、高圧線下の高さ制限などで、数回協議をして撤退された事例もあります。

ほかにも道の駅のような具体的な提案はありましたが、進んでいない状況です。しかし、一部で問い合わせがあるのも事実ですので、具体的な提案があれば踏み込んだ協議ができると思っています。



待たれる地域開発

Q. 中学校移転は A. 不転の決意で臨みます



三宅 耕三

問 中学校移転は本当に実現できるのですか。用地買収では、駅前開発の二の舞にならないよう、今度こそ早く協力いただきたい地権者を大切にしながら進めるべきだと思いますが、フォローはできていますか。

答 町長 この事業に全地権者から理解をいただくには、非常に厳しい状況にあり、もうしばらく時間をいただきたいと考えています。移転開校が実現できるよう全力で進めていきます。

教育総務課長 地権者には定期的に事業の進捗状況を説明しています。

再質問（一問一答）

問 担当職員だけの負担にならないよう、定年再任用のベテラン職員を生かしたチーム編成で事業を進めてはごうですか。そして、責任の所在を明らかにしてください。

答 町長 再任用職員についても、向き不向きも考えながら、職員の経験や知恵を活用できるように適材適所の人材登用を考え、今後も不転の決意で進めていきます。

注射嫌いの町長へ

問 町長は、新型コロナウイルスの予防注射を打ちますか。

答 町長 今後検討します。



Q. 大豆による6次産業化事業は A. 町内で試験的に開始します



三林 浩

問 本町は都市近郊農業の町であり、行政面積の約3分の1が農地となっています。残念ながらこの農地を有効に活用した農業経営とはなっていない。

答 こうした中「稼げる農業」と題して現在取り組んでいる特産品(大豆)の今後の進め方について伺います。

町長 大豆による6次産業化事業は、特殊な加工技術により、差別化できる商品「おから」のない豆腐や豆乳などの大豆製品が期待できません。

このような特徴を有する付加価値の高い商品を、地域が一体となって開発や研究に取り組むため、民間主導で「TOWNマメマチ協議会」を発足することになりました。

現在のメンバーは、生産者や加工会社のみですが、今後は、飲食事業者などに



大豆製品の開発研究にチャレンジ

も参加を呼びかけ「東員町産大豆」で地域活性化を目指すことを期待しています。また、大豆による6次産業化事業を町内で試験的に開始するため、施設の老朽化に伴って活用を停止している農産物加工処理センターを改修し、再活用することを考えています。連携して事業に取り組む企業と町内農業法人2社を中心に大豆を使った商品開発や研究、また、豆腐や油揚げなどの加工場とすることを検討しています。

Q. 外出弱者の助けは A. 地域住民と一緒に取り組みます



広田 久男

問 高齢化によって車やバイク、自転車にも乗れない、移動手段に困っている人たちがどうやって助けるのか、取り組みを伺います。

答 政策課長 オレンジバスは、ダイヤ見直し、車いすのまま利用できるバスの導入、4月から75歳以上の方と65歳以上の免許を返納された方には「おでかけ元氣バス」を配布するなど、利便性の向上に努めています。

しかし、日常の買い物などに不便を感じている方の外出手段は課題です。知り合いと楽しく出かけられる中上地区のような住民活動が、多くの地域に広がるよう取り組みます。

地域づくりの推進は

問 令和3年度からスタートする『第6次東員町総合計画』の中にある「地域づくりへの支援」「住

員町総合計画』の中にある「地域づくりへの支援」「住

民活動の支援」について、進め方や役場の役割は何かを伺います。

答 副町長 プロジェクトチームを立ち上げ、新たな地域コミュニティへの交付金や地域計画策定など、関係団体や関係者と協働しながら検討していきたいと考えます。

役場職員が地域の人たちと一緒に取組む「地域担当制」も検討したいと思えます。

また、役場職員を含め、みんなが地域課題に向けてスキルアップを図る必要があると考えるので、講座などについてもプロジェクトチームの中で検討します。



中上地区の外出サポート活動

Q. 少子高齢化対策の計画は A. 高齢者福祉計画等に基づき計画



中村 等
なかむら ひとし

問 町の人口減少、少子高齢化は避けられず、町の福祉計画人口試算によると2040年には約40%が高齢者となる予想となっています。

次の2点を伺います。
① 高齢化社会へ向かう現在の各検証・将来の計画は。
② 将来の財源確保は。

答 町長 ① 高齢化への対応は、健康づくりや高齢者の介護予防が重要で、その対策は現在策定中の高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき進めます。

次期総合計画では、まちづくりの考え方を「共生社会でまちを創る」と、重点施策は「高齢者福祉の推進」と位置づけています。

高齢者が元気に活躍するという人生の手足を示してもらうことで、まちの魅力が高まり、さらに若者世代の流入が進むことによって、高齢化対策につながります。



先人が培った故郷を次世代に

課題に対処する大切な考え方として「新しい時代への変革」などを基本構想に掲げた第6次東員町総合計画に基づき、高齢化社会への対応を進めます。

② 将来に向け財源確保は、重要課題と認識しています。今後の行政運営に危機感も抱いており、こうした背景から、財政健全化に取り組み予算の効率的・効果的な活用を図っています。また、余剰金があれば、可能な限り基金へ積み立てます。

おおたに 大谷 かつし 勝治



Q. 信号待ちの常態化は A. 渋滞の解消を目指します

問 道路管理について伺います。

① 信号待ちが常態化した交差点の把握と、交差点の調査はどのようですか。

② 町道改修計画の概要はありますか。

③ 町道補修の対応はどのようですか。

答 建設課長 ① 三重県管理の国道421号

と県道多度東員線の鳥取沢交差点は、渋滞が発生する箇所だと認識しています。交通量の調査や警察との協議を行い、工事予定は令和5年度完成を目標に事業を行うとのことでした。

② 現在、新規道路設置の計画はありません。既存の道路の主な改修計画は、町単独事業として町道山田筑紫北線舗装補修工事を引き続き行うための予算を令和3年度に計上しました。

また、町道穴太弁天山2号線の舗装補修工事は国の交付金を活用して令和4年

度に完了する予定です。

③ 軽微な道路損傷については週2回の道路パトロールにて補修を行っています。急を要する補修箇所が確認された場合は、職員や現業作業員にて行っています。簡易な補修では対応できないときは事業者へ委託しています。

再質問（一問一答）

問 パトロールの実績は。

答 建設課長 令和元年度のパトロール実績は750件で、業者修繕の実績は51件1530㎡です。



渋滞の解消！

おおさき
大崎
しやういち
昭一



Q. 難聴者へ補聴器購入助成を A. 必要性に応じて検討します

問

「難聴と認知症の関連」の認識はありますか。加齢性難聴を「年のせい」「個人の問題」と解釈してきた社会通年の時代から、「難聴」は認知症予防の重要な要因の一つとして取り組む新しい時代です。

慶応大学小川郁教授は、難聴は「ほほえみ障害」と呼び、社会的孤立になり、認知症の危険因子の一つであり、補聴器の必要性を強調しています。平成29年は全国21自治体で「補聴器購入助成」を実施しています。

本町も補聴器購入助成の実施やヒアリンググループ（磁器ループ）設置の計画はいかがですか。

答

健康長寿課長 難聴と認知症との関連が疑われていますが、詳しい因果関係は不明です。

難聴の補正を行うことで、認知症予防効果の根拠は確立していませんが、加齢性難聴の方への補聴器購入助

成やヒアリンググループ設置など、今後、必要に応じ、国の動向を注視し、検討します。

介護保険料軽減を

問

介護保険料第1号被保険者保険料は20年前の約2倍になり、町民の負担は重いです。国の負担割合を多くすること、生活困窮者の保険料減免などを、国へ進言しませんか。次期計画の具体化はいかがですか。

答

健康長寿課長 次期の保険料は県下一低い水準を維持します。施設計画は認知症対応型グループホームを2ユニット整備します。



やまざき
山崎まゆみ



Q. 男女共同参画の意識啓発は A. 力を入れて行っています

問

JOC前会長の不適切発言が見受けられました。町の男女共同参画の意識啓発はどうですか。

答

町民課長 今年度は「コロナ感染防止策で男女共同参画連携映画祭」を中止しました。

その代わりに、結婚出産などで離職した女性対象のスキルアップのための「女性の再就職支援講座」と、事業者対象とした「多様で働きやすい職場づくり講座」をオンラインで実施しました。

これらは、保・幼、子育て支援センター、東員町商工会加盟店、地元商業施設にチラシ掲示の協力をしてもらい、今まで啓発が行き届かなかった中小企業にも男女共同参画の理解を深めていただけました。

また、町職員管理職働き方改善研修では、ハラスメント防止法を学びました。

問

女性管理職登用は増えていますか。女性の職員の職域は広がっていますか。

答

総務課長 職員採用で男女比率の均等を中心がけ、数年前には女性管理職の数値に現れていくと思います。

認知症サポーターは

問

認知症サポーター養成事業の促進はどうですか。

答

健康長寿課長 認知症は誰もがなり得るもので、正しい理解のために「認知症の備え」の啓発に努め、認知症当事者と家族支援の仕組みづくりを目指します。認知症サポーター受講生には「ステップアップ研修」を実施し、地域活躍できるように検討します。



女性も男性も能力と個性を十分発揮

再質問（一問一答）

伊藤 治雄



Q. 空き家の原状と対策は A. 実態調査を実施し対応します



増加する空き家

問

町の空き家率は6.4%と全国比で低い状況にあるものの、住民の安心安全の視点から、今後の対応について伺います。

答

建設課長 平成27年調査では142件あり、内8件が倒壊の危険度が高いと判定され、その後5件が取り壊されました。しかし、今後、適切な管理が行われない空き家の増加が懸念されます。老朽化による安全性の低下、防犯上の問題、景観や衛生の悪化など多岐にわたる問題を生じさせ、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことも考えられます。そのため、令和3年度に実態調査を実施します。

一 中移転事業の状況は

問

東員第一中学校移転事業について、当初コンセプトから変更はありませんか。また、事業進捗状況は地権者フォロワーの観点から、逐次情報提供が必要と考えますがどうですか。

答

教育長 今回は、新しく中学校を建設するだけではなく、役場付近に移転し、隣接する体育館文化センターなどの公共施設群との有効利用を図ることで教育の充実につなげます。また、本町の教育目標である「自己実現と社会の発展に貢献できる力の育成」と「東員町に愛着と誇り」に資することが可能になると考えており、コンセプトに変更はありません。今後、事業の進捗状況は、地権者の皆さんに、随時報告します。

川瀬 孝代



Q. 弱視早期発見の取り組みは A. 受診勧奨に努めます

問

三歳児健康診査での弱視の早期発見への取り組みを伺います。

三歳児健診で、屈折異常、遠視・近視・乱視が見逃された場合は治療が遅れ、十分な視力が得られないこととなります。

三歳児健診は、目の異常を見つけるよい機会になります。健診での弱視の見逃しと屈折異常の周知啓発はどのようですか。

また、屈折異常を発見できるフォトスクリナーの導入はどのようですか。

答

子ども家庭課長 乳幼児期は、目の発達に重要な時期にあたります。実施している検査では、10%から20%の幼児に対して精密検査と判定して眼科医への受診勧奨をしています。検査結果で弱視が見つかり治療につなげたケースはありますが、見逃しは把握していません。

幼児期における早期治療が有効であることを周知し、受診勧奨に一層努めていきます。

また、検査の段階で子どもが嫌がることや、親や保健師の言うことが理解できなかったり、うまく答えられないこともあるため、フォトスクリナーなどの検査機器を活用し、検査の精度を高めることは認識しています。

費用対効果を考慮し、国が示す検査方法や他市町の動向を注視して、検討していきたいと考えています。

視力検査の方法

検査の時に注意すること

1. 明るい部屋で検査してください。
2. 視標の高さは子どもの目の高さに合わせてください。
3. 目はずり検査をします。目かくしはきちんとセロテープ等ではって、のように固定してください。
4. はじめは理解できない子どもいますので、ゲームをするような楽しい検査をします。それでもできない時は目を閉じて別回をおこなってください。



早期発見、早期治療

総務建設常任委員会

委員会 活動報告

活動報告(中間)

令和2年度および3年度の重点テーマを「補助金等の研究」「公共交通のあり方」としています。

加えて新型コロナウイルス感染症対策について、多様な意見を持ち寄り、行政と議論しながら、延べ16回の委員会を開催しています。

○補助金に関する提言

従来の自治会向け補助金を廃止し、新規に創設する地域コミュニティ再生応援交付金(仮称)と、新設プロジェクトチームが、行政と自治会、そして地域団体や住民などが協働して地域づくりを担う、その起点となるよう求め「補助金等の見直しについて」提言書を町長に提出しました。



提言書はこちら

○水道料金減免を要望

新型コロナウイルス感染症により、経済的影響を受けている町内全域の家庭や事業所に対する支援策として『上下水道料金の減免について』の要望書を町長に提出しました。

その後、行政側より「検討する」との返答を得ました。



要望書はこちら

○町上水道施設を視察

重大災害時の応急給水を確保するため、低区配水池(高さ10メートルのステンレス製タンク)を1基増設工事中です。

町全体の上水道施設の現地視察をしました。

町の水道事業は、昭和36年に給水を開始した南大社簡易水道を起源に、町内の

簡易水道を統合しながら、昭和45年に創設しました。その後、昭和50年に笹尾地区、平成元年に城山地区の給水を開始しました。

水道施設は建設後30〜45年が経過しており、優先順に耐震化を図りつつ更新しています。



増設工事中のタンクを視察

教育民生常任委員会

委員会 活動報告

活動報告(中間)

教育民生常任委員会では、活動テーマを「高齢化に備えるための取り組み」と「住民の安心と福祉のまちづくり」を掲げ、コロナ禍での活動制約や停止を判断するのではなく、現状を的確に判断し、可能な限り活動することを念頭に実行した1年となりました。

活動項目ごとに、委員からの評価をもとに進捗状況を評価点として「見える化」としました。

2年目の委員会活動に向けて、意見交換し、さらに自己研鑽と調査・研修に取り組んでいきます。



活動報告は
こちら

○健康寿命の延伸へ

3月26日、東員町フレイル予防講演会に参加しました。

「いつまでも元気でいるために だからフレイル予防」と題してフレイル予防への取り組みの説明がありました。

栄養状態や筋力、認知機能などが低下し、要介護になる手前の状態をフレイルといい、この段階での適切な治療やアドバイスを受けることで、要介護状態になることを防いだり、遅らせることができるといわれています。

現在のフレイル対策は、健康診査が中心で重症化に向けた指導がほとんど行われていません。

この点の改善とともに高齢者自身の自己管理と何が必要なのか根拠を知ることが大事です。

東員町として、フレイルチェックをはじめ様々な事業への取り組みがはじまります。

また、東員町・東京大学・三重県・電力会社による実証実験で電力メーターをA

ーが感知し、フレイル検知することが報告されています。これからもさらに取り組むということで、期待したいと思います。



委員会で講演会に参加

「75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める請願書」が全日本年金者組合三重県いなべ支部 支部長 瀬尾昭忠さんより議会に提出され、教育民生常任委員会で審議しました。

教育民生常任委員会では賛成少数で不採択としました。

主な質疑

問 請願書にある低年金、無年金者も引き上げ対象となると考えているのですか。不安をおおる内容ではありませんか。

答 (請願者) 低年金、無年金者にも影響はあると考えていただきたいと思います。

問 現役世代の一人当たりの負担はますます増えていきます。高齢者に負担をかけるのは断腸の思いですが、負担能力のある方に自分の負担をしてもらうことは日本の将来のためにも必要と考えますが、いかがですか。

答 (請願者) 消費税の用途が大きな問題です。消費税の増税分が全て社会保障に使用されているかということについてはありません。社会保障に使われているのは約1割で、ほとんどが大企業の法人税引き下げの穴埋めに使われているのです。

問 請願書の趣旨に勘違いされるような文言が入っているのは問題です。この部分の修正が必要だと思います。いかがですか。

答 (請願者) 今はこのまま提出したいです。

問 三重県議会になぜ提出していないのですか。

答 (請願者) 存じません。

問 現役世代の負担についてどう考えているのですか。

答 (請願者) 財源はあるという見解です。

反対討論(三宅議員)

将来的に現役世代の負担が増えることは明確です。負担能力のある方に自分の負担をお願いするべきと考え、原案に反対します。

請願第1号 75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める請願書(抜粋)

【請願趣旨】 政府は2020年12月15日、年収200万円から上の人の75歳以上医療費窓口負担2割化を2022年秋から実施することを閣議決定しました。

75歳以上の高齢者は、病気やけがをすることが多く複数の医療機関を受診したり、治療が長期化するケースが多くあり、約370万人の窓口負担が2倍となります。

特に新型コロナウイルスの感染拡大に対する高齢者の生活と健康に対する不安が高まっているこの時期に、医療費負担を増やすことは、高齢者、とりわけ低年金で暮らす人や、無年金の人、生活保護は利用していないが同水準で暮らしている人たちにとっては、命に関わる問題です。

コロナウイルスの影響で、自殺者も増えている報道もされています。

こうした悲劇をこれ以上出さないためにも2割化は中止すべきです。

窓口負担1割の現在でも、経済的事情で医療機関の診察をためらい重篤化するケースが報告されています。重篤化する前に、安心して医療にかかれる環境は、高齢者にとっては大きな問題です。

以上のことから、国に対して、下記事項について地方自治法の規定による意見書を提出されるよう請願致します。

【請願事項】 国に対し、75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書を提出してください。

傍聴者の声

3月定例会の一般質問を傍聴された皆さんからのアンケートを整理し、抜粋して紹介します。

☆いただいたご要望の中で、行政が担当するものは連絡し対応を依頼しました。

<< 感想や所感など >>

- 防護壁(アクリル板)やマスク着用など、コロナ対策がよくできている。
- マスクをしていると聞き取りにくい。
- 大きな防護壁(アクリル板)が設置されているので、マスクを外してもよいのでは。人によって話が分からない時があります。
- ☑マスクを外して発言することやマイクの使用位置などに心がけます。
- 傍聴者に音声がかかっているかどうかを確認してから始めるような配慮がほしい。結構、耳の遠い傍聴者がいるのですから。
- ☑適度な大き目の音量設定に努めます。
- 右側に設置してある画面は、答弁者の顔がよく見えて、声もよく聞こえました。
- 初めて傍聴し、TVで見る雰囲気とはまるで違って感動しました。一緒に考えさせられるようで、今までにない心が動きました。
- 平素より身近に思うことであったため、目の前でやりとりされる場面には、一緒に自分も考え、向き合えたように思います。
- 役場の方々の回答、返答は、何か自信なさそうでした。強い意気込みで答弁されると良いと思いました。
- ☑答弁者側の執行部に伝えます。
- パソコンの要約筆記の素晴らしさを実感した。(メモを取るときに便利)3人が別室で要約筆記していると聞いた、ほとんど完訳できており感心しました。また、記者が絶えず配慮して要約記者に寄り添っていて、プロの仕事を感じた。
- ☑難聴の方への傍聴補助をボランティアの方をお願いしています。
※傍聴補助のため一般の方々には配布していません。

<< ご意見など >>

- 第1中学校の用地買収は、どこまで進んでいるのか見えてこないです。
- 議員の質問や意見が同じような場合は集約できないか。
- 質問内容が重なっていました。あらかじめ打合せはできていないのでしょうか。
- ☑通告受付の段階で調整しますが、質問者の強い希望で取り下げない場合は質問が重なることがあります。
- 中継画面に字幕を入れる工夫を要望します。
- 要約筆記したビデオを視聴できるようにならないか、例えば図書館など。
- ☑実現できるように調査研究します。
- ぬるま湯の様な一般質問でなく、もっと深い内容の意見を要望します。
- 質問者の持ち時間は1時間と聞いているが皆さん短い。しっかり使って深く議論してほしい。
- ☑質問内容にもよりますが、議論を深めることは大切なことだと思います。質問力向上に努力します。
- 傍聴者が小声で自分の考えや反対意見を言うのでとても耳障りであった。メモ書きするときもボールペンを用紙にたたきつけながらしている。とても不快でした。
- ☑傍聴される皆さんが気持ち良く傍聴できるように、周囲の方への配慮や気遣いを願います。

議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。
よ〜読んで答えしてください。

- 問1 令和3年度一般会計当初予算額はいくらでしょうか。
問2 2月臨時会で審議された議案数はいくつでしょうか。
問3 3月定例会で一般質問をした議員は何人でしょうか。

▼応募方法／官製はがきまたは封書に答え・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、また議会へのご意見、ご感想などありましたら、一緒に記入してお送りください。

▼あて先／〒五一一〇二九五
東員町山田一六〇〇番地
東員町議会事務局
締切り／令和3年5月31日
(当日消印有効)

※正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

全国ベスト8 ～トルネードDBT～



まちの話題

東員町スポーツ少年団の『トルネードDBT』は春の全国小学生ドッジボール選手権(2021年3月28日)に出場し、全国ベスト8の快挙を成し遂げました。
キャプテンは「互いの信頼感と声かけプレーの中で、一人ひとりが自ら行動できて、今までの練習成果を精一杯発揮して、1秒1秒を楽しめました」と語ってくれました。

編集後記

いまだに収束の気配を見せない新型コロナウイルス。この影響による参入条件特例措置によって、わが町の陸上競技場をホームとするヴィアティン三重がJクラブとなることに現実味が出てきました。新聞報道には、「三重サッカー界に球春が来た」とありました。

わが町のコロナ対策も、ワクチンが功を奏して、本当の春が来たと見える日を1日も早く待ち望みます。

一般質問の紙面は今回から議員1人あたり1ページから半ページに凝縮し、内容を極力分かりやすくしました。そして、各委員会の活動を多く取り上げ、議会全体を町民の皆様により一層理解しやすいように編集しました。これからも努力してまいりますので、皆様のご要望をお聞かせください。

(大谷 勝治)

議会広報常任委員会

委員長／三林 浩
副委員長／広田 久男
委員／片松 雅弘 大谷 勝治
山崎まゆみ 三宅 耕三

次回の定例会は
令和3年6月1日に
開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。